

光・量子飛躍フラッグシッププログラム (Q-LEAP)
ステージゲート評価結果 (5年目)

1. 研究開発課題名
アーキテクチャを中心とした量子ソフトウェアの理論と実践
2. 研究代表者名 (所属機関名・職名は評価時点)
学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 教授
根本 香絵

ステージゲート評価結果 (5年目)

○結果

5年目ステージゲート通過とする

○評点

A:評価項目を満たしており、課題の継続実施が妥当である

○総合評価コメント

多くのインパクトの高い成果が出ており、ステージゲート目標を達成している。また量子コンピュータ実機を用いてアルゴリズムの有用性を検証した点は注目に値する。そのため継続と判断する。

今後は、学術的成果の創出だけでなく、ビジネス利用を目指すユーザー企業との連携を8年目のステージゲート突破に向けて構築することが望ましい。また、目標で掲げている”高性能性”について、量子コンピュータによる実証だけにとどまらず、古典コンピュータ上のベストアルゴリズムに対するベンチマーキングを行い、量子優位性と有用性の有無の検証を期待する。

以上